

あすなろ

熊谷女子高校
図書委員会
第697号
2023年5月1日発行

Time heals
everything.
時はすべて癒やす。

こどもの日

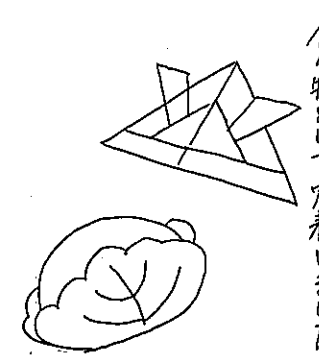
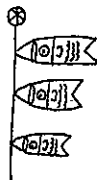
こどもの日は5月5日で、端午の節句でもあり、子ども供たちみんなが元気に育ち、大きくなったことをお祝いする日です。ノゾメ8年に、5月5日を「こどもの入魂を重んじ、こどもの幸福をばかるとともに、母に感謝する」を休みの日と決められてから、端午の節句の日が子どもの日になったそうです。

こいのぼり

一番大きい鯉は、真鯉といっ、黒い鯉。二番目に大きい鯉は、赤い鯉。三番目に大きい鯉は、青い鯉。鯉という魚は、強くて流れが速くて強い。元気に泳ぎ、泳ぎのぼってしまおう。そんなたくましい鯉のように、子どもたちが元気に大きくなることを願っています。

師曰く 「読書のすすめ」

「本の虫」とは縁遠い私が、読書について蘊蓄を傾けるのは少し気が引けます。しかし、人生の様々な岐路に立たされた時、人は誰でも何かかに救いのヒントを求めます。その様な時に、読書は一条の光を与えてくれるツールの一つです。高校時代は授業の延長で「伊豆の踊子」「仮面の告白」「人間失格」などを好んで読みました。大学時代はある作家の作品に傾倒し、「青春の蹉跌」「風にそよぐ葦」「自分の穴の中で」などを読みました。



柏餅

端午の節句に柏餅が食べられるようになったのは、江戸時代からといわれています。柏の木の葉は、新芽が出るまで古い葉が落ちないという特性から、新芽を子どもも、古い葉を親に見たて「家系が絶えない」ように「子孫繁栄」と結びついたわけですね。そのため、柏の葉で巻いた柏餅は、縁起のいい食べ物として定着しました。

☆このコーナーは熊女の先生から生徒たちへのメッセージです。

これらの作品の作家は「蒼茫」で第一回芥川賞を受賞しました。その他の作家の作品で「限りなく透明に近いブルー」「箱男」が印象に残っています。社会に出てからは数え切れないほどの人生の荒波にもまれ、その様な時に、かすかな光を与えてくれた作品は「夜と霧」「人生の短さについて」などです。いずれにしても、人生のその時々で必要と思われたら、ジャンルを問わず、どの様な作品でもいいから手に取って読んで見てはいかがですか。

自トキメキが足りていない

そんな貴方に!

心おすすめ恋愛小説の

◎世界の中心で、愛をさけぶ

著者：片山恭一

・高校二年生の朝木郎と恋人のアキのラブストーリー。アキが発病し、日に日に弱っていくのを見守るしかできない朝木郎が、アキの十七歳の誕生日にオーストラリアに行くことも決意するが、

・見ていて心が痛む作品ですが、最愛の人がいなくなったらどうするか。日に日に弱る恋人にどのような感情を抱くのかを考えさせられる作品です。今も大切に、恋人だけじゃなくて友人も大切にしようと思えよう。感動もセツトでっぴりしてくるお得な恋愛小説です。♡

おびけなれ話

高村光太郎

智恵子は東京に空が無いといふ

ほんとの空が見たいといふ。

私は驚いて空を見る。

梅若葉の間に在るのは、

切つても切れぬ

むかしむかしおのまけい空だ。

いんよりけむる地平の輝かしは

うすもも色の朝のしめりだ。

智恵子は遠くを見ながら言ふ。

阿彌陀羅山の空の上に

毎日出てある青い空が

智恵子のほんとの空だといふ。

おびけなれ空の話である。